

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

大成建設株式会社（証券コード:1801）

【変更】

長期発行体格付	A+	→	AA-
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的
債券格付	A+	→	AA-
発行登録予備格付	A+	→	AA-

■格付事由

- (1) 総合建設大手5社の一角を占める。施工実績は豊富で、国内における事業基盤は強固である。グループでは、土木事業、建築事業のほか、大成有楽不動産によるマンション分譲などの開発事業も手掛ける。過年度に実施した業務集約化・効率化などにより、上場大手4社の中で最も営業利益率が高い。中期経営計画（2018-2020）では、建設事業を核とした成長基盤の構築を掲げ、成長投資を強化する方針である。
- (2) 近年の国内建設需要の回復や選別受注の徹底などが奏功し、当社の利益水準は向上している。豊富な手持ち工事量や工事採算性の改善を踏まえると、当面、高い利益水準で推移するとみられる。さらに、実質無借金の定着や自己資本の厚みが増すなど、財務基盤が強化されている。当面の利益見通しを踏まえれば一段の自己資本の充実が予想され、財務基盤の更なる強化が見込まれる。以上より、長期発行体格付を1ノッチ格上げし、見通しは安定的とした。
- (3) 18/3期の営業利益は1,818億円（前期比29.1%増）となり、2期連続で最高益を更新。建築事業における収益性の高い工事の完成や土木事業での追加工事・設計変更の獲得が寄与した。19/3期の営業利益は1,310億円（同28.0%減）と、6期振りに減益となる計画である。前期にあった収益性の高い工事の反動減が予想されるが、従来と比べて高水準の利益が見込まれる。なお、リニア中央新幹線工事に係る入札談合問題については、国土交通省や一部の地方自治体などから指名停止を受けており、今後の業績に与える影響に留意していく。
- (4) 18/3期末の自己資本比率は34.6%であり、直近5期で12.5ポイント上昇している。中期経営計画では3期で3,000億円の成長投資を実施する方針だが、手元流動性の活用や当面のキャッシュフローにより賄うことが可能とみている。

（担当）窪田 幹也・下田 泰弘

■格付対象

発行体：大成建設株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第33回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2013年6月20日	2018年6月20日	0.66%	AA-
第34回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2013年12月13日	2020年12月11日	0.67%	AA-
第35回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2015年9月11日	2022年9月9日	0.527%	AA-
第36回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年7月24日	2022年7月22日	0.140%	AA-
第37回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年7月24日	2027年7月23日	0.380%	AA-

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	1,000 億円	2017 年 3 月 25 日から 2 年間	AA-

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2018 年 5 月 24 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：窪田 幹也
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014 年 11 月 7 日)、「総合建設」(2012 年 3 月 26 日) として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) 大成建設株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官 (格付) 第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル